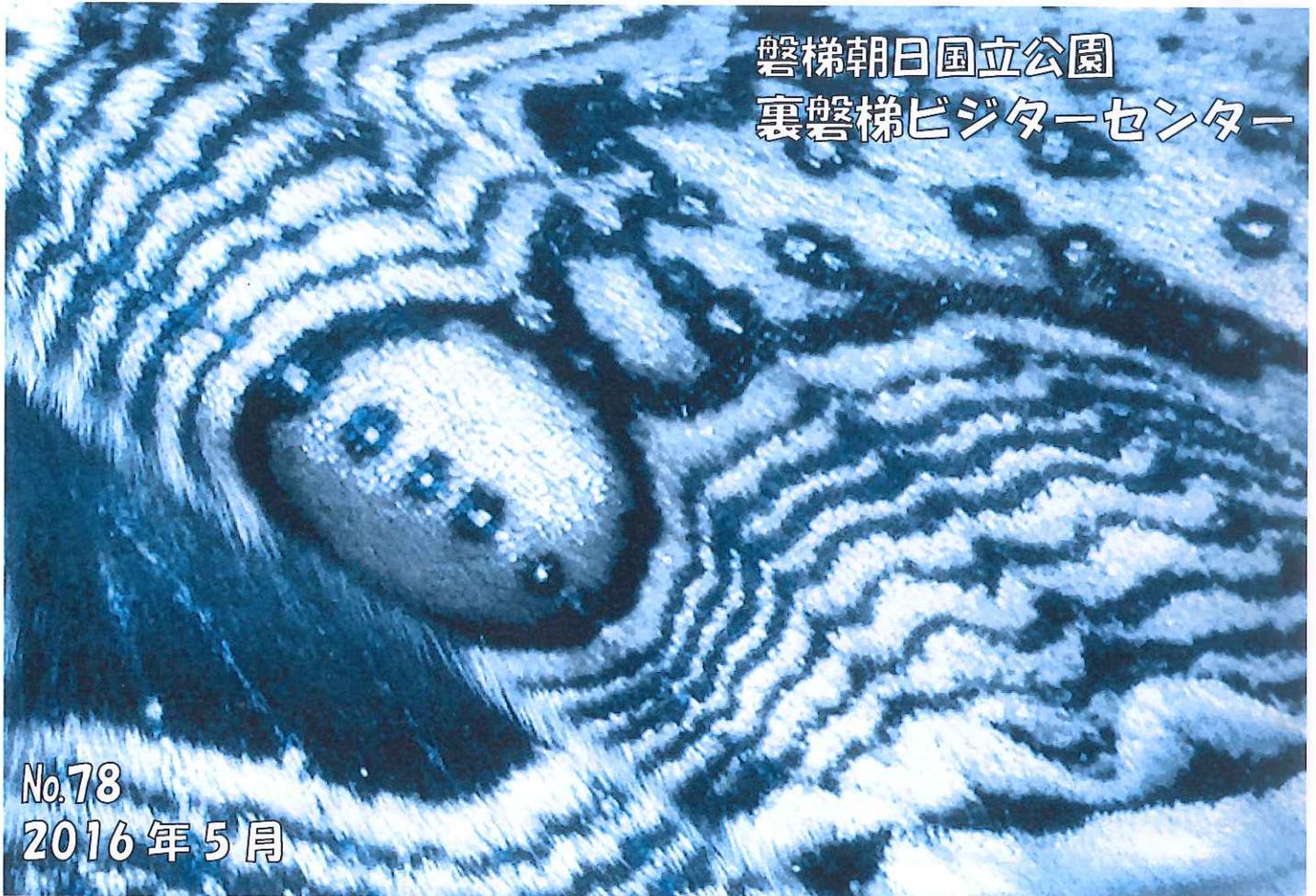


裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター



No.78
2016年5月

小さな世界 ⑬

寒さが緩むと同時に、あっという間に若葉が茂り、裏磐梯にもようやく春が訪れました。道端で偶然に懐かしい友人とすれ違うような、生きものとの出会いにもわくわくする季節ですが、年に一度、春だけに現れる生きものたちに会いに行きたくなります。写真の幾何学模様の持ち主も、そんな春だけに見られる生きものの一種です。正体は、「イボタガ」という10cmほどの大型の蛾。イボタガは、三大春蛾の一種とも称され、主にイボタノキという樹木の葉を食べることから、イボタガという名前がついています。なんととっても、この翅の模様の緻密さに、複雑な造形美を感じます。そして、黄金色の地に黒のラインという渋い色味が、ゴージャスな雰囲気をも漂わせています。この春は、郊外の灯りに引き寄せられる蛾の影を追ってみるのはいかがでしょう？

（「イボタガの翅」 2016年5月14日）

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■ 若葉のころ ■

草野心平（福島県出身です！）の詩に、次のように始まる詩（「樹木」）があります。

若葉は光りと もつれあい。
くすぐりあい。
陽がかげると不思議がって きき耳を立て。 . . .



まさに今の若葉のころの樹木のように、生命力あふれる瑞々しさで表しています。ほんの二か月前までは冬枯れの裸の木々だったのに、どこにエネルギーが潜んでいたのかと驚かされる樹木たちの生命です。

その若葉ですが、「春紅葉」という言葉があるように、樹木によって若葉の色合いがかなり違うのをご存知でしょうか。ヤナギやハンノキ類はすんなりと緑が濃くなりますが、黄土色、褐色、茶色、赤色



などにまず萌え出し、以後だんだん緑に染まっていく樹木もあります。秋に紅葉する葉は春も紅葉から始まるみたいです。葉緑素以外の色素形成が関係するそうです。

葉の光合成による栄養分の自家生産が本格化するまでの間、まさに若い人の成長と同様の木々の色彩の変化を、しばし目を細めて見守りましょう。

■ こんなの見なかった？ ■

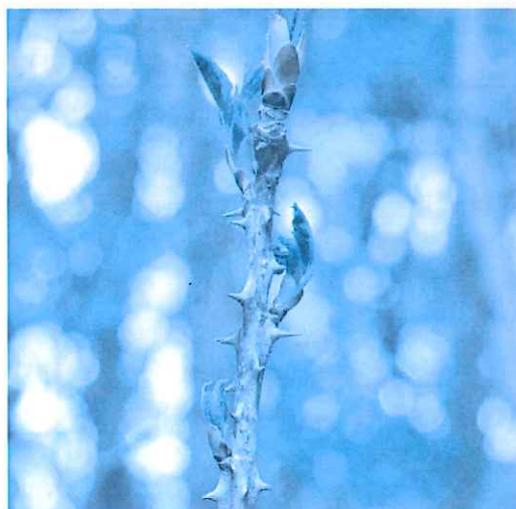
裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんででしょう？

裏磐梯も雪が融け、新緑が楽しめる時季になりました。足元にも緑、頭上にも緑が広がり、冬とは全く違った景色を堪能することができます。

散策中に林の中を見してみると、いろんな木々が芽吹き始めているのがわかります。大木もあれば細くて背の低い木、やがて大木になるであろうという子供の木、その中にとげのついた木が見つかることがあります。裏磐梯ではあちこちで見ることができます。

さて、写真のその”とげのついた木”とは一体何でしょう？

- ①ウコギ
- ②タラノキ
- ③ノイバラ
- ④ハリギリ
- ⑤トチノキ



正解は④のハリギリという木です。ハリギリ（針桐）の葉は桐のように大きくて、とげがあるからこの名が付いたといわれています。大木になり、材は柔らかい感触であることから、下駄などに利用されたようです。新芽は食べられるそうです。

とげがあるので触るとケガをすることもあります。気を付けましょう。この他にも、とげのある木をさがしてみるのも楽しいですね！！

■ 自然人（しぜんびと）

■ 自然の中でがんばっている人たちを紹介します

このコーナーでは自然活動がんばっている若い方にスポットをあて、自然の魅力や活動、目標などを紹介していただきます。

今回は、「裏磐梯ビジターセンター」期待の
新人スタッフ ^{すずきはるか} 鈴木陽花さん（はるるん）です。



「裏磐梯
ビジターセンター」
ここです！

「地元の自然が知りたい」。裏磐梯ビジターセンターで働くきっかけは、そんな思いからでした。子どもの頃から生きものが好きでしたが、本格的に自然に親しむようになったのは学生時代から。教員免許状の取得と植物の研究、自然観察に勤しむ毎日でした。将来は子どもたちに自然の魅力や不思議さを伝えたいという思いが強くなる一方、他所の自然に触れるにつれ、地元の自然を知らないもどかしさを感じるようにもなりました。

働きはじめて一か月以上が過ぎましたが、こんなにも魅力的な自然がすぐ近くにあったことを知らずに育ったなんて、すごくもったいないことをしていたと感じることばかりです。また、裏磐梯の自然が好きで、県外から何度も足を運んでいるという方が多く、意外にも地元の人の方が良さを知らずにいるのかもしれないと思うことがあります。

自然を大切にすることは、きっと身近な自然に興味を持つことから芽生えるものと思います。県外だけでなく、今以上に地元の方々に愛着を持ってもらえるようなビジターセンターにしていくことが、今の私の目標です。これまでに培った自然を見る目や、イラストや文字などの自分らしさを活かし、ビジターセンターを訪れる方々と自然をつなぐきっかけになるような展示や解説をしていきたいと思っています。



★裏磐梯ビジターセンター★ <http://www.urabandai-vc.jp/>

■ ようこそ！ビジターセンターへ

■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

スライドトークが盛り上がりました！

ゴールデンウィーク中は多くの方がビジターセンターを訪れ、晴天時には駐車場が満車になるほどでした。

そんな中、レクチャールームで「スライドトーク」を実施し、スタッフが磐梯山の噴火や五色沼の水の仕組み、裏磐梯の自然の見どころや散策の際の注意点などをお話しました。



五色沼や動植物のクイズで盛り上がりたり、裏磐梯の自然について色々な発見があったりと楽しんでもらえました。また、様々な質問もあり、スライドトークをきっかけに参加者とスタッフの交流を深めることもできました。

現在は、スライドトークに加えてワンポイントウォッチングも実施していますので、ぜひご参加ください。



イベントのお知らせ

スライドトーク

日時：5/7(土)～7/10(日) 土日
13:00～ 約25分

参加費：無料

内容：スタッフが磐梯山の噴火や五色沼の成り立ち、見どころなどをお話します。



ワンポイントウォッチング

日時：5/14(土)～7/10(日) 土日
スライドトーク後 約15分

参加費：無料

内容：ビジターセンターの周辺で生き物観察をします。



雄国沼マイカー規制のお知らせ

雄国沼に至る林道のマイカー規制が始まります。レンゲツツジやニッコウキスゲの群落を有する雄国沼湿原周辺は、毎年、花の時期に合わせて多くの人を訪れます。

マイカー利用の集中による林道の交通渋滞や事故、排気ガスなどによる自然環境への悪影響を軽減するため2005年よりマイカー規制とシャトルバス(有料)の運行を行っています。

※雄国せせらぎ探勝路、雄国パノラマ探勝路、猫魔ヶ岳やまびこ探勝路からは通常通り登山できます。

※路上駐車は禁止です。



■マイカー規制期間

平成28年6月4日(土)～7月18日(月)

■規制の内容

雄国、大久保、中道地の各林道入口ゲートが終日閉鎖されます。喜多方市側の「萩平駐車場」にマイカーを置いて、シャトルバス(有料)で「金沢峠」へ行くことができます。なお、シャトルバスは、マイカー規制期間中のみ運行します。

■マイカー規制についてのお問い合わせ

喜多方市観光交流課 0241-24-5200

■シャトルバス運行についてのお問い合わせ

会津乗合自動車(株) 0242-22-5560

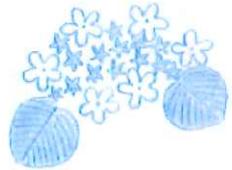


6月～7月に見られる生き物たち

初夏、探勝路は木々の緑に囲まれ、森林浴を楽しむことができます。今年は花の咲き始めも早いように感じます。これから、レンゲツツジ、オオカメノキ、ツルアジサイ、ノアザミ、ベニバナイチヤクソウ、サワオグルマ、マイヅルソウ、ニッコウキスゲなどの花が楽しめます。磐梯山や吾妻山の標高が高い場所では、ミヤマキンバイ、イワカガミ、コバイケイソウ、ミヤマクワガタ(バンダイクワガタ)などの高山植物も楽しめます。

また、両生類や昆虫、野鳥などの動物も多く観察できます。クロサンショウウオが卵から孵り、水辺の木の枝にモリアオガエルが産卵します。森の中にエゾハルゼミや野鳥の鳴き声が響き渡り、多くのトンボたちが水辺を飛んだり産卵したりします。

ぜひ様々な探勝路を歩いて景色や動植物の観察を楽しんでみましょう。



「裏磐梯だより」について

■ウェブサイトからもご覧いただけます！

年間6回(奇数月)の発行ごとに更新します。どうぞおたのしみに！

■総集編 vol.1～3 販売中!!

※各1冊 1,300円(税込)

裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

■郵送でお届けする定期購読も！

ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚(1年間6回の送付分)を同封して裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。



★ビジターセンターの窓から★

吾妻山の雪融けも早く感じます。昨年見たコバイケイソウの群落をまた見てみたいです。(ろっぴ) 悠然として山を見る蛙かな【一茶】そのような季節になりました。(くりりん) いい季節ですねえ。私は北方系の血が濃いのでこれが普通とは思えません。夢のよう。(ターサン) 裏磐梯の春は、どんな春なのでしょう？生きもの探しが楽しみです。(はるるん)

—吾妻山の火山活動状況—

噴火警戒レベル2(火口から概ね500m規制)

浄土平から一切経山への登山道は一部を除き通行できません。



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

開館時間

夏季 4月～11月 午前9:00～午後5:00
(冬季 12月～3月 午前9:00～午後4:00)

休館日

毎週火曜日、年末年始
(火曜祝日の場合は開館し翌日休館)



入館無料

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>